

「裁縫教育の歴史」を探る!! 【第II弾】

普通科3年「総合的探究の時間」で「朴沢学園裁縫教育資料室」を訪問しました

12月22日(水)に、ATルームに隣接する「朴沢学園裁縫教育資料室」をデザインアートコース最後の3年生3名が訪問しました。法人事務局の田中慶子さんの解りやすい説明で、137年前の裁縫教科書、卒業証書、織物見本、作品など多岐にわたる資料を目で見て、触ってみて、耳で確認することができました。

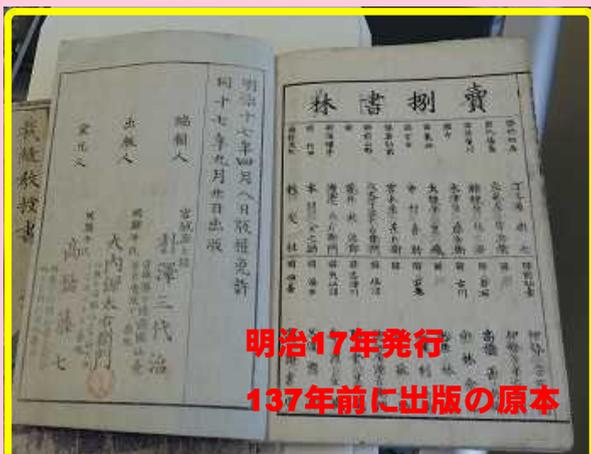
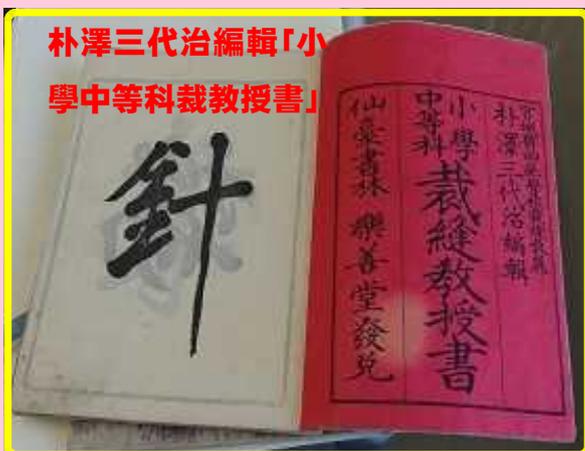


あらためて創設者、初代・朴澤三代治先生の先見性に感銘し、朴沢学園の尊い歴史を学んでいる事を実感しました。次々と歴史の扉が開かれていく喜びを感じつつ、宮城県で現存する最も古い私立学校として142年という歴史の重みについて学びました。

◆◆ 生徒の感想 ◆◆

朴澤泰治理事長の話伺い、それを踏まえて今回教授資料の実物を拝見させていただきました。数十年前や百年以上も前の貴重なものだったので、密室の状態にし、湿度管理を細かくしているそうです。

約百年前の教科書やひな形など、これまで目にしたり手に触れたことのないものを拝見させてもらったので、自分の人生の中で貴重な体験になりました。 (尾山琴音)



← 実際に手にとって、調べる事ができた貴重な資料

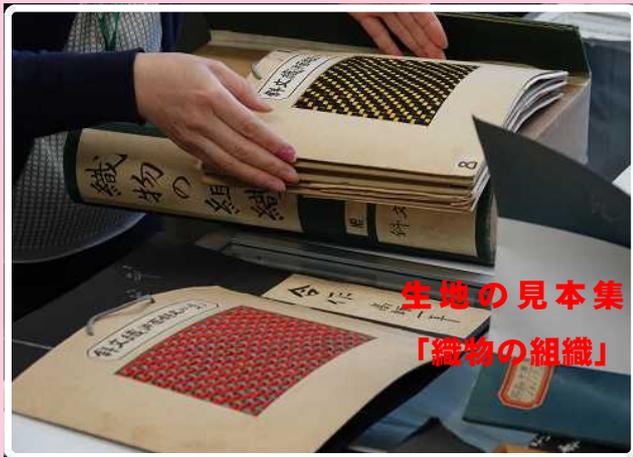
- ・ 学科改編により、朴沢学園伝統の被服科を伝承するデザインアートコースが最後の学年となりました。
- ・ 10月30日には最後のファッションショーを成功させ、朴沢学園142年の裁縫教育の歴史を探り始めました。



田中さんからの丁寧な説明



137年前の教科書＝裁縫教授書



生地の見本集
「織物の組織」



背広や着物のひな形



暖簾のひな形



卒業証書 ↓

↑ 裁縫教授書 →

- ☆ 「裁縫教育の歴史」調べが着々と進行しています。理事長講話に続き、今回は「朴沢学園裁縫資料室」を訪問しました。
- ☆ 次回は年を越してしましますが、モニュメント関連の調査報告となる予定です。
- ☆ 随時ホームページにてレポートしますので、引き続き卒業生（同窓生）の皆様もお楽しみに…。



◆ 朴沢学園裁縫教育資料のページ

<http://hozawa.ac.jp/approach.html?name=db>